

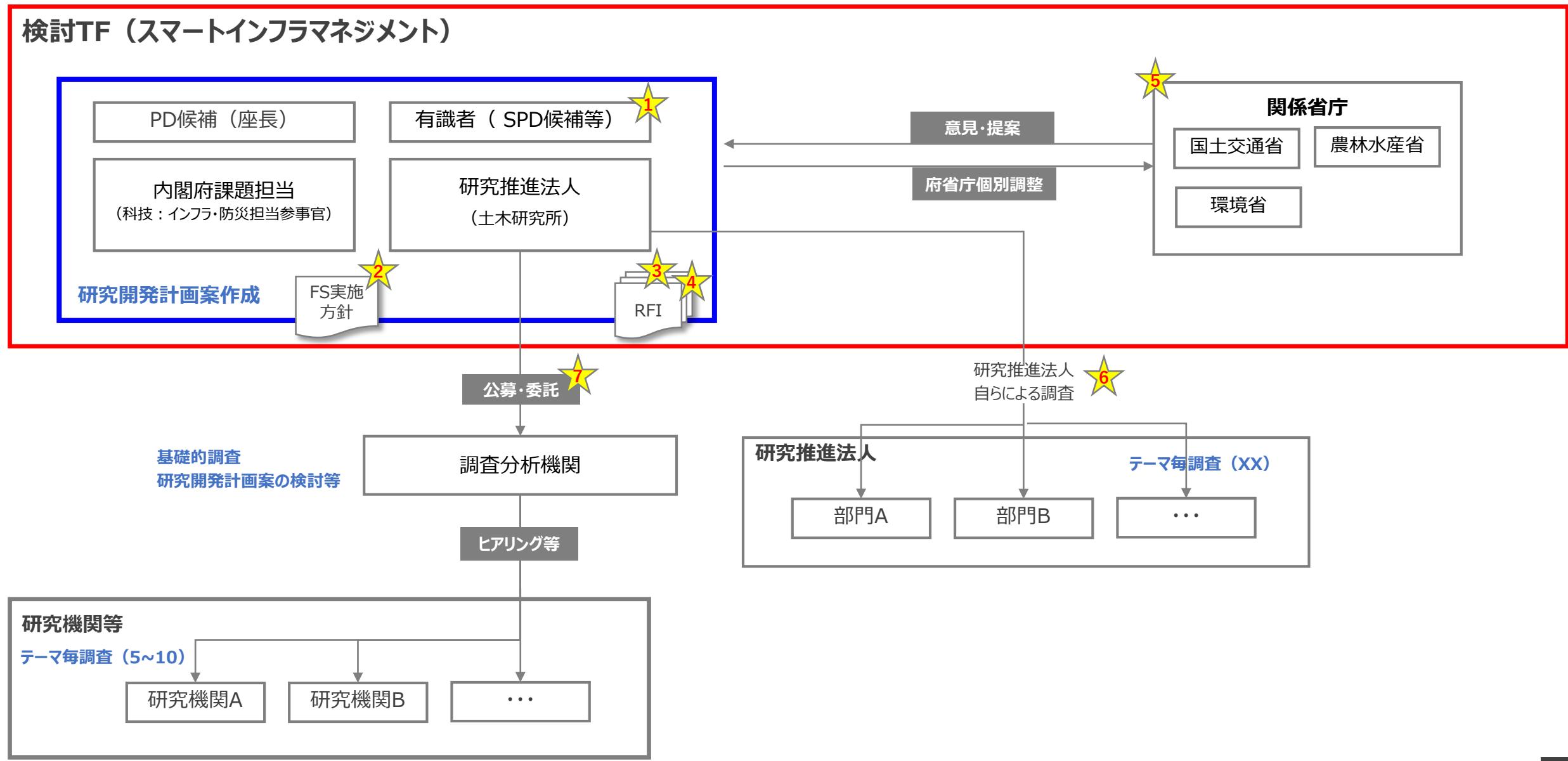
■ 次期SIP <スマートインフラマネジメントシステム> タスクフォース体制 (案)

■ タスクフォース (TF) の位置づけ

- ① 研究開発計画案の作成に、省庁は入らない。
(PD候補、有識者、内閣府科技、研究推進法人が主に実施)
- ② 関係省庁からの個別の提案内容について別途調整WGを行った結果のとりまとめを行う。
(個別提案は、3回の調整WGにより順次絞り込みする)
- ③ 検討の過程は明確化・共有する

No	実施事項	期間	担当
1	有識者 (SPD候補等) 素案検討	～6月下	内閣府、研究推進法人
2	FS実施方針作成着手	～6月下	内閣府、研究推進法人
3	RFI分類・全体像把握	～5月下	内閣府
4	RFI精査	～7月上	内閣府、研究推進法人
5	関係省庁調整WG 1回目	～7月中	内閣府、研究推進法人
6	研究推進法人によるFS対象の整理	～7月上	研究推進法人
7	発注準備、公募、契約	～7月下	研究推進法人

済



■次期SIP 検討TF関連の会議の参加者<スマートインフラマネジメントシステム> (案)

	PD候補	有識者	内閣府	研究推進法人 (土木研究所)	関係省庁	備考
【1】 検討タスクフォース (インフラマネジメント)	●	●	●	●	●	【2】のWG結果 の報告・共有
【2】 関係省庁との調整WG	○	○	●	●	●※	省庁の部署別に 実施 ※テーマによっては 合同も可

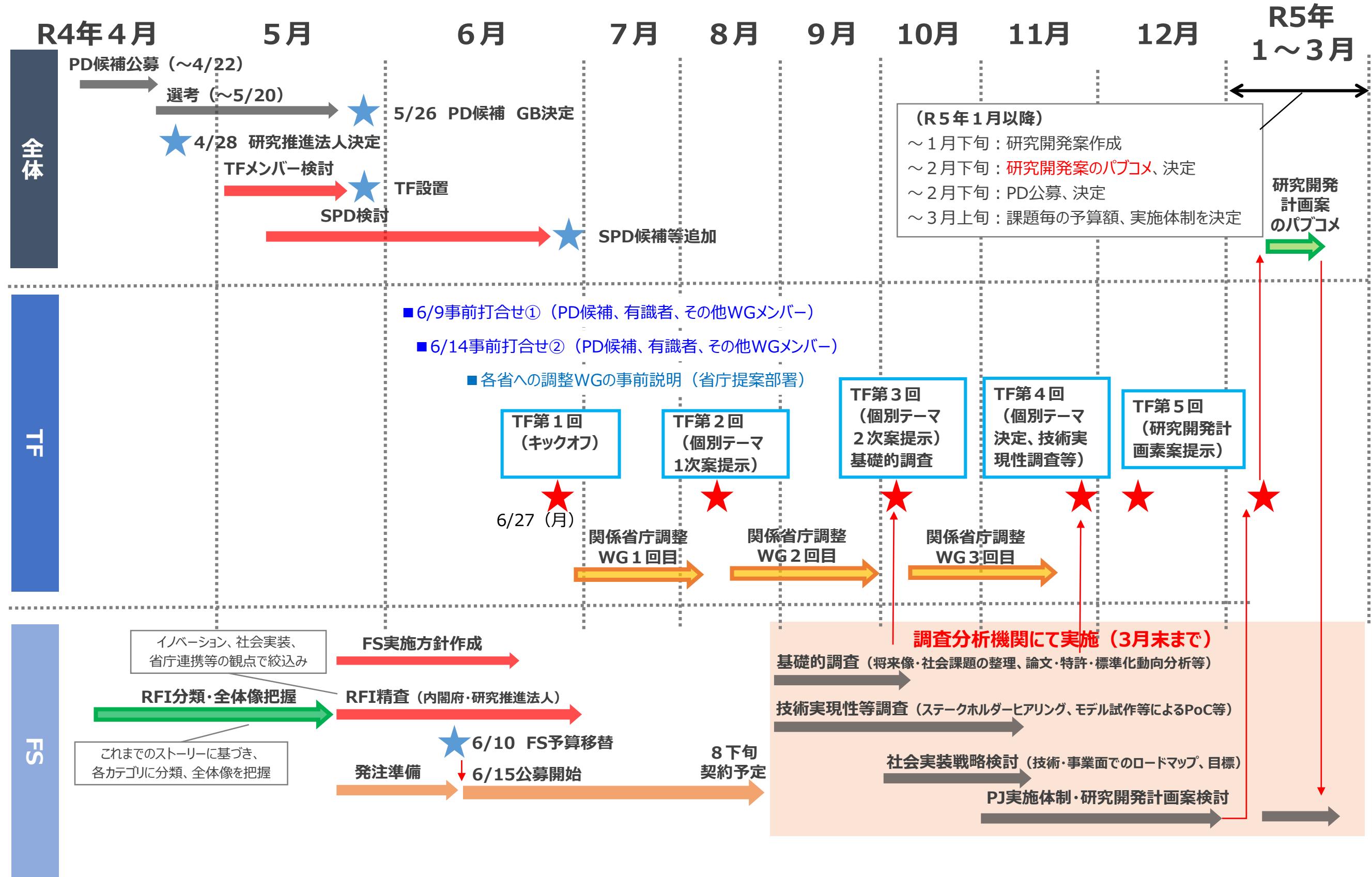
※：府省庁提案に基づき実施

●：参加

○：必要に応じて参加

■ 次期SIP検討スケジュール<スマートインフラマネジメントシステム> (案)

6/20時点

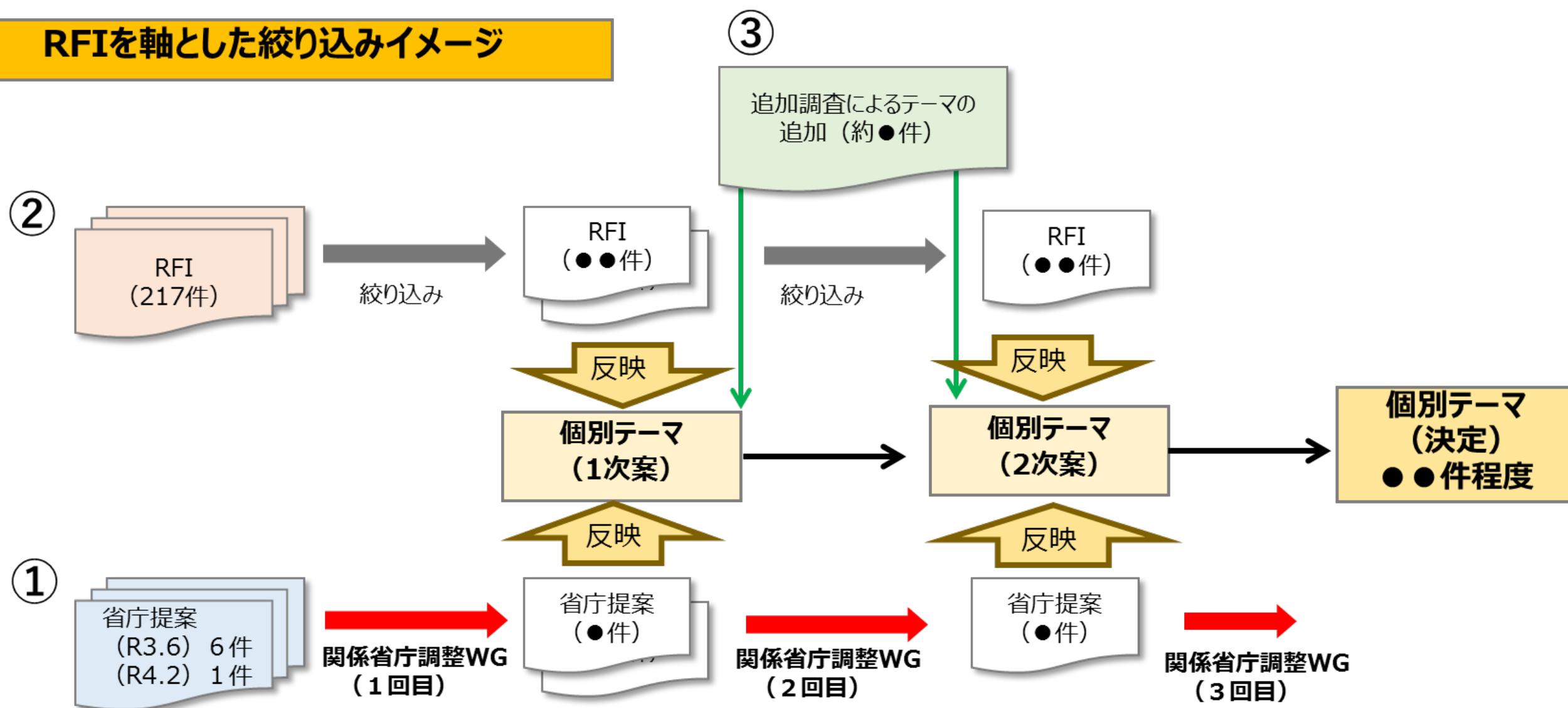


■ 次期SIP <スマートインフラマネジメントシステム> 研究テーマの絞り込みの進め方

■ 個別テーマ選定の絞り込み対象

- ① 関係省庁からR3年6月等に提案されたテーマ、及び新規提案
- ② RFIの中から省庁が推すテーマ
- ③ 研究推進法人による追加調査から設定するテーマ

RFIを軸とした絞り込みイメージ



■ 次期SIP <スマートインフラマネジメントシステム> 研究テーマの絞り込みの進め方

戦略的イノベーション創造プログラム（SIP）は、総合科学技術・イノベーション会議が司令塔機能を発揮し、府省や旧来の分野の枠を超え、基礎研究から実用化・事業化まで見据えて一貫通貫で研究開発を推進し、イノベーションの実現を目指すものである。

個別研究テーマの決定にあたっては、府省庁個別調整WGを開催し、「個別テーマ選定の評価軸」に基づき、RFI及び府省庁提案、FSの調査状況等から重点的に取り組んでいくべきテーマの絞り込みを行う。

個別テーマ選定の評価軸

第2期SIPが満たすべき要件

- ① Society 5.0の実現を目指すもの。
- ② 生産性革命が必要な分野に重点を置いていること。
- ③ 単なる研究開発だけではなく社会変革をもたらすものであること。
- ④ 社会的課題の解決や日本経済・産業競争力にとって重要な分野。
- ⑤ 事業化、実用化、社会実装に向けた出口戦略が明確。
(5年度の事業化等の内容が明確)
- ⑥ 知財戦略、国際標準化、規制改革等の制度面の出口戦略を有していること。
- ⑦ 府省連携が不可欠な分野横断的な取り組みであること。
- ⑧ 基礎研究から事業化・実用化までを見据えた一貫通貫の研究開発。
- ⑨ 「協調領域」を設定し「競争領域」と峻別して推進（オープン・クローズ戦略を有していること。
- ⑩ 産学官連携体制の構築、研究開発の成果を参加企業が実用化・事業化につなげる仕組みやマッチングファンドの要素をビルドイン。

SIP運用指針より抜粋

① **スマートスマートインフラマネジメントシステムマネジメントシステムのコンセプトに合致する事。**

② **研究開発によるイノベーションを起こす。**

③ **社会実装戦略・道筋が明確である。**
例)府省庁の計画、政策（閣議決定レベル等）へ記載されるなど社会実装を明確化する。

④ **府省庁連携による分野横断的な取組である。**